

米の消費拡大の現状と対策について

- 米の一人当たり消費量は、食生活の変化等の影響もあり、令和5年度には51.1kgまで減少。
- 米の消費拡大の施策として、米飯学校給食の推進・定着、あらゆる機会を捉えた情報発信、「米と健康」に着目した情報発信、新たな需要の取り込み等を実施。

一人当たり消費量の推移

(昭和37年度：118.3kg → 令和5年度：51.1kg)

米の消費量変化の背景

- ◎ **人口減少及び少子高齢化**
 - ・人口減少、高齢化等により1人当たり摂取熱量減少
(一人当たり摂取熱量：S41年 2,196kcal → R元年 1,903kcal)
- ◎ **食の多様化**
 - ・肉料理が増加するなど、食の選択肢の多様化
 - ・カロリーだけでなく糖質摂取も米由来比率が減少
- ◎ **世帯構造の変化と食の簡便化・外部化**
 - ・家庭内炊飯割合低下、中外食比率が約3割に増加
 - ・単身や2人世帯の増加に伴い、簡便化志向の増加
 - ・簡便化志向を捉えた炊飯器や米飯商品群も出現
- ◎ **米に対するイメージの変化**
 - ・「米は太る」等のイメージが増加
- ◎ **中高年層における米消費量の減少**
 - ・若年層より健康志向強い中高年層(50-60代)で、米食の頻度が減少

米の消費拡大の施策例

- ◎ **米飯学校給食の推進・定着**
 - ・次世代の消費を担う子供達へ、ごはんを中心とした「日本型食生活」の普及・定着のため米飯学校給食を推進
- ◎ **多面的な情報発信**
 - ・ホームページ、SNSやYouTube等を活用し民間事業者等と連携し米食の魅力発信
 - ・政府広報や他の行政施策と連携した情報発信
 - ・展示会や刊行物での情報発信
- ◎ **新たな需要の取り込み**
 - ・米粉やパックご飯の需要拡大に資する支援実施
 - ・米を利用した新たな商品開発の支援
 - ・注目される「おにぎり」の魅力発信
- ◎ **食の外部化への対応**
 - ・産地と中食/外食事業者とのマッチング支援
- ◎ **米と健康に着目した情報発信**
 - ・シンポジウムや学術会議等の場で、米の機能性など「米と健康」の情報を発信



動画での情報発信

